

**UR(都市再生機構)とオリックス不動産(株)  
とで土地譲渡予約契約を締結**

酒々井南部地区新産業団地は、平成20年3月31日に都市再生機構と申込みのあったオリックス不動産株式会社とで土地譲渡予約契約が締結され、4月25日に、オリックス不動産の担当役員があいさつに来町

事業計画については、検討中とのことから提示されませんでした。事業計画の方針としては商業施設だけでなく、長期的なビジョンで、環境問題などを含め四半世紀の事業展開を目標とし、研究開発など、これからの産業を複合していくイメージをもって、設立後10年という若い企業であることから、新しい発想の中で事業を手掛け、金融と不動産のネットワークを活かし、地域活性化に繋がる方向で挑戦していきたいとのことでした。

土地区画整理事業につきましては、5月23日の全員協議会で都市再生機構から説明がありましたが、5月18日に地権者説明会が開催され、5月19日に国土交通大臣に事業計画認可申請を行っており、6月には、事業計画案の縦覧が行われる予定となっています。

事業計画案の縦覧：6月13日～26日(2週間)

町といたしましては、事業化に向けてできる限り協力してまいります。以上について報告するとともに、議会に対し理解と協力をお願いいたしました。

## 報告 2 酒々井ちびっこ天国の運営について

酒々井ちびっこ天国につきましては、昨年度より指定管理者制度による施設の管理運営が実施され、セントラルスポーツグループがプール事業の運営を行ったところですが、本年度よりプール事業のほかに**通年型健康づくり事業**として4月26日に「健康ひろば」がオープンいたしましたのでご報告いたします。

### ちび天に「健康ひろば」オープン 4月26日から

#### 施設の概要

- スタジオ：20名程度収容できる
- トレーニングルーム：筋力アップから介護予防まで利用できる
- 多目的室：囲碁や将棋等を楽しめる
- 更衣室：シャワーを完備
- 無料休憩所：情報共有スペースも兼ねる

**スタジオ** では、腰痛を予防・改善する機能改善教室、基礎体力の向上を目的とした健康体操教室、ナチュラルヨガ、脂肪燃焼エクササイズなど

**トレーニングルーム** では、ランニングマシンをはじめ、筋力トレーニングマシンやバイクトレーニングマシンなどが設置

**セントラルスポーツ協がプログラムを提供（指定管理者の代表団体）**

#### 「健康ひろば」利用状況

現在の利用状況は、

- 5月末までにのべ514名
- 1日平均19名の利用
- 1ヶ月定期券（継続的利用）の利用は98名

#### 前売り券の販売

町民の皆様には、

7月1日～18日まで現地にて  
入園割引のある前売り券を販売

#### \*\*\* プール事業 \*\*\*

7月19日（土）～8月31日（日）までの44日間を予定

住民及び利用者のニーズに対応できる施設運営を目指し、更なる事業展開ができるよう指定管理者と協議を進めて参りたいと考えています。  
以上について、議会に対し報告いたしました。

## 報告 3 中川流域防災事業について

中川流域防災事業につきましては、その整備実施に当たり学識経験者、地域の代表者、公募の委員の皆様方総勢 16 名より構成されました「**中川流域水循環系再生計画策定委員会**」を平成 19 年 6 月に発足、本年 3 月まで計 5 回の議論を重ね、平成 20 年 4 月 21 日に**中川流域の総合的な治水対策の基本的な考え方についての提言**を頂いたところです。

### 庁内検討会を設立し検討

近年頻発する水害状況を踏まえ、町民生活の「安全・安心」を確保するためには、効果的・効率的な中川の整備を実施していくことが不可欠であることから、この提言を受け庁内職員の幅広い立場から意見を出し合い、その具体的な実施方針について検討することを目的に担当参事と関係課長からなる庁内検討会を設立し、検討を進めているところです。

主な検討事項としましては、河川整備の水準、事業の優先順位、出水時における危機管理のあり方、健全な水循環系の再生等を主な論点に掲げて検討を行っております。

5 月 23 日、中川の抜本的な治水対策促進について  
3 度目の請願書が提出されました。

町といたしましては、今後の事業実施に向けて当該庁内検討会の意見を踏まえた上で、説明会等を通じ関係住民や議会の皆様方との連携を密にして合意形成を図りながら、中川の治水整備を実施してまいりたいと考えております。

以上について報告するとともに、議会に対し理解と協力をお願いいたしました。

## 報告 4 酒々井町体育館の耐震診断結果について

酒々井町体育館は、昭和41年3月に建設され、当時の建築基準を満たしていましたが、平成19年度に実施した酒々井町体育館の耐震診断では、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の被害を踏まえ文部科学省で策定した屋内運動場等の耐震性判断基準に基づき診断したところ、その結果についてご報告いたします。

### 診断結果 「倒壊の危険性が高い」の範囲に入る

構造耐震指標	$I_s$	0.204
保有水平体力	$q$	0.629

注  $0.3 > I_s$  , または  $q < 0.5$  : 倒壊の危険性が高い

これらの値になった要因は、当体育館はブレース構造と呼ばれる筋かいで地震力などの水平力に抵抗する構造形式ですが、この耐震要素である筋かいの接合部分と柱と基礎との接合部が脆弱であったためでした。現在では筋かい本体の耐力よりも接合部の耐力を大きくする保有耐力接合という方法で設計を行っていますが、設計当時の昭和40年頃にはまだこの設計方法がないことも原因の一つでもあります。

### ／／改修までの当面の対策／／

- 耐震診断の結果及び緊急時のマニュアルを作成し利用者に周知の徹底を図ります
- 定期的に点検を行うなどリスクの軽減を図ります

当施設は生涯スポーツの核となる施設で代替となる施設がないことから、今後も当施設を活用していきたいと考えております。

今回の診断結果を踏まえて、検討資料とするため6月補正予算で耐震補強の可否及び可能である場合は、本体改修の概略事業費を算出するための概略耐震補強設計業務委託費を計上させていただいたところです。

これらの結果を基に、今後の方向性を検討してまいりたいと考えております。以上、議会に対して報告いたしました。